

赤れんが

ブラウンハイム自治会
昭和59年2月

残る任期もわずかですが、今後ともよろしく
お願い致します。
階段委員一同

五十八年度 ブラウンハイム夏祭り

去る昭和58年8月20日・21日、金沢シーサイド
タウン祭り実施に合わせて、当ブラウンハイムの
夏祭りが開催されました。
20日は、夕方から盆踊り、夜店などが他の自治
会と協力して、富岡東中学校々庭で行われました。
さて、21日、ブラウンハイムでは、子供たちに
よるみこし、山車の巡行が予定されていました。



21日の朝、空はどんよりと曇って、何やらポツリ
ポツリ…。

中止の声も聞こえま
したが、あきらめきれず
にしばらく様子を見る
ことになり
ました。
12時30分
皆さん傘を
さして集合、
そのうちに
雨もやみか
ける気配が
してきまし
た。どうし
ようかなど
と話し合う

大人たちをよそに、みこ
しのそばに子供たちの輪
ができてしまいました。
こうなれば、あとは決
行あるのみ。雨が降った
り、止んだりする中を、
大小のみこしと山車がブ
ラウンハイムの回りを一
周しました。
この後、お菓子をもら
った子供たちは、思いお
もいの場所へ散って行っ
てしまいました。どうや



ら子供たちのもう一つの
ねらいは、このお菓子を
あつたようです。
あいにくの天候の中で
行われた夏祭りでしたが、
無事終えることができました。
皆様のご協力に感
謝いたします。

◇ ラジオ体操

ねぼうしないで参加で
きましたか？
毎日欠かさずに参加で
きましたか？

夏休み中の7月21日か
ら31日、8月23日から31
日、日曜日をのぞく毎朝

6時30分か
ら、ラジオ
体操が行わ
れました。
ねむい目を
こすりなが
らも、たく
さんの方が
元気に参加
して下さい
ました。
毎回参加
できたとい
う人は、き
っと、この
冬の寒さも
元気で乗り
きれるでし
ょう。

◇ 防災訓練
9月11日に予定されて
いた、ブラウンハイム防
災避難訓練は、あいにく

ブラウンハイム運動会

10月2日

運動会のため
にあるよ
うな好天気。
思いおも
いのウェアに
身を固め、
皆さんの集
合です。

競技種目
は、徒競走
に始まり、
綱引き、あ
め喰い競走
と続き、10
種目以上の
競技が行わ
れました。

最後のレ
ース、チー
ム対抗リレーでは最高に
盛り上がり、ギンギラ
ギンにさりげなくの曲
に合わせたフォークダン
スで閉会となりました。
数々の競技には、日頃
の鍛錬の成果を披露する
人、この日が久々の運動
などという人、さまざま
の大人たちに比べ、なん



の雨天のため中止となっ
てしまいました。
どうぞ、各家庭での防
災の備えは、おこたりな
くお願いいたします。

といつても子供たちが一
番元気良く楽しんでいた
ようです。
ケガもなく無事終了す
ることができました。
たくさんの方々のご参
加ありがとうございました。
た。 申す上は

ブラウンハイム
文化祭

11/19
〜
20



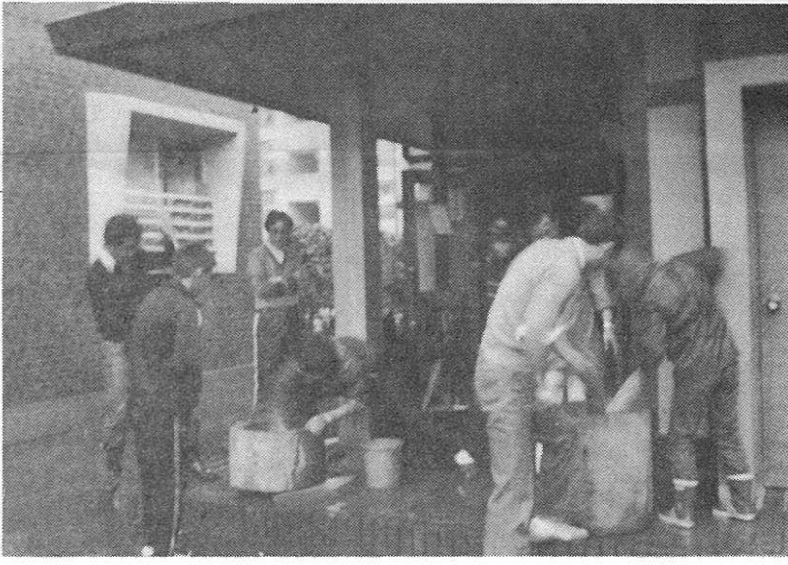
派な油絵、玄人はだしの手芸、工芸品、報道カメラマン顔まけの写真などなど。数えきれない程の力作の中に、かわいらしい子供のアイデア作品が混じって実にたのしい作品展でした。たくさんの方の皆様の参加・ご協力ありがとうございました。

◇新規民生委員就任◇
新規民生委員として
三瀬 静江さん
(21・1・102)
が就任されました。
あわせて児童委員も
兼任されます。

新管理人さん誕生!!
旧管理人さんの杉本さんが、ご都合により、昨年12月末をもって、おやめになりました。
本年より、新しい管理人さんとして、伊勢 義朗さんが就任なさいました。
ブラウンハイムのため、よろしくお願い致します。

”おとうさん ご苦労様”
餅つき大会

十二月四日、午前七時三十分。冷たい朝の空気の中、ブラウンハイム自治会会館では、何やら湯気を上げ始めています。餅米を蒸すための湯が準備されているのです。外には、キネとウス、三段重ねのセイロも用意されました。もうすぐ、ペタンペタン聞こえてきますヨ……。



つき手の方々、ご苦労様でした。つきたてのほんもののお餅とてもおいしかったです。

昭和58年 12月11日
高橋の徹くん
(20-5-403)
おめでとう
ございます

◇58年の自治会活動を振り返って◇

四月に発足した、本年度自治会活動も、10ヶ月を経て、新年を迎えることができました。一年の主な行事をほぼ終え、新規役員への引き継ぎなどいくつかの仕事を残すのみとなりました。各方面、皆様の参加・協力を頂き、ほんとうにありがとうございました。残る任期もわずかなりまりましたが、この自治会活動が今後の発展につながるよう頑張りたいと思います。

☒ 後記 ☒

雪、白く、柔らかく、すぐ消えてしまうものが空から降りてくると、不思議な気持ちになる。子供の頃からそうなのだが、雪が降ると何か新しいことが起こりそうな予感がする。そのくせ、生まれてこのかた、何十回と降り積ったにもかかわらず、特別新しい事は、一度たりとも起らなかった。起るのは交通がマヒし、往來が不便になることぐらいである。それでも、次の雪には、同じ気持ちになるから不思議だ。これは私が太平洋側で生まれ育ったため、日本海側に住む人にとっては、雪は当たり前で、具体的すぎ特別なことは何も感じないかも知れない。

ご冥福をお祈り
申し上げます
二村直之様
(21-3-503)
八月二十五日永眠

一月に降った雪は何十年振りとのこと。首都圏だけでも百名近い人が転んで病院のお世話になったと聞く。雪国の人からすれば、雪で転ぶことが不思議に思えるだろう。人は生まれ育った場所によって、微妙にちがった感覚を持つようになる。それが積り積り、異なった考えの人間ができてくるのかしらと、おおげさに考えた。

ともかく、このように異なった感覚の人が、いろいろな形で巧くやってきているのだから、やはり不思議である。(S)

編集部の都合で、赤れんがの発行が大幅に遅れましたことをおわび致します。